

第28号

2014年 7月1日

○発行  
650-0004  
神戸市中央区中山手通  
7丁目25-38  
神戸真生塾広報誌編集係  
TEL (078) 341-5897  
FAX (078) 341-8239  
E-mail:kouhou@kbsheinsei-j.org

○振替口座  
郵便振替01100-8-18680



愛された記憶の大切さ

神戸真生塾評議員・内科医師 岡田 長保



二〇一四年、五月十八日付で、神戸真生塾評議員を拝命いたしました岡田長保でございます。

神戸真生塾は一八九〇年（明治二三年）五月二三日創立、今年が二四周年とのことで、早速、お祝い会のご案内をいただきました。「今年もわたしたちのお家の誕生を一緒にお祝いしたいですね」と記されており、「わたしたちのお家」の「重み」を深く深く思いました。

神戸真生塾広報誌「愛」第二七号に、阿部志郎先生が「神戸真生塾は、法律の規定によって行政が義務的に設置した施設ではない。制度のない時代に、キリストの愛に目覚めた人々が、やむにやまれない思いに迫られて始められた施設で、枠を越えて進んでる愛のエネルギーから生まれた施設にほかならない。この『愛』が一二四年にわたって受け継がれてきたのは、神の摂理というべきだろう」と記されました。感謝のほかありません。

今回、初めて理事会・評議員会

の資料を読ませていただき、乳児院・児童養護施設・保育園・付属小児科診療所のお働きの大きさを痛感いたしました。時代とともに変化する社会的ニーズに対応しつつ、工夫改善が進められ、世に開かれた施設であることを覚えま

す。また、この分野における先進的専門機関としての役割も担っておられ、スタッフの育成など、貴重な存在であり、昨年の第三者評価結果もそのことを裏付けています。

一人の養育過程にある人格を育てることは大変なことだと思います。それを見事に果たして「わたしたちのお家」を形成されていることに敬服いたします。小児科医の報告によりますと、人間の精神保健で最も大切な時期は乳幼児期であり、特に母子間の波長が調和しあうとき、安心感と喜びを生み出す発達促進的な状況が生み出され、母親の深層で、自分がどのような存在意義を持つかを敏感に察知し、その積み重ねからのイメージや、自分のイメージ（自己像）が形成され、人生を肯定的に受け入れる素地が準備されるとの

事です。母親に限らず、乳幼児期に接する一人一人の存在がいかに大切かを思います。

子どもは、一人一人が固有の脳の成熟の仕方を持ち、気質や身体発育の特徴を持ちます。周囲への適応が不器用な子、あるいは刺激に敏感な子にとっては、普通の環境自体がストレスになることがあります。他の子どもとの比較、競争で、叱咤激励することは、生き生き力にはならないようです。私も小学校三年生頃までは、通知簿に担任の先生から「もつと物が言える子供になって下さい」と記され、親を心配させました。体も虚弱で「夏休みの宿題は免除する」「体を造りなさい」と言い渡されたことがありました。「やらなくてもよい」と言われると妙にやりたくなるものですが、当時の先生の温情が今も思い出されます。

子どもの心は閉じられた世界であり、成人のように多くの選択肢を持ち合わせません。いじめを受けても話せず、心身症になりやすい子どもは、家族や他人のことをよく考える心の優しいこの過剰反応の場合が多いと言われています。このような場合、心の世界を

広げ、選択肢を広げる方向に周囲の大人が手伝う必要があるようです。

人はたとえ困難なことに遭遇しても、自分自身の努力で、あるいは周囲の支えで解決可能な希望のある場合は、それに立ち向かうことができる、しかしどんなに努力しても解決できないことがわかってしまうと、うつのようになってしまふと言われています。私も二十歳時代、結核に倒れ六年間の療養生活を余儀なくされました。当時結核は死病と恐れられ、まさにうつ状態でありました。それを救ってくれたのは両親・友人の無償の愛でした。その愛により、さらにキリストの愛を知り、生への新たな望みを与えられました。

一内科開業医として、一九六七年以来、小児科医の妻と共に四六年間、故郷淡路島で地域医療に携わってまいりました。病める時も、健やかな時も、互い寄り添い、仕えあうことの大切さを学びました。

今年、八七歳になりますが、二三歳の頃、朝目覚めたとき、笑顔で手を差し延べてくれた母の姿が忘れられません。

創造主の大きな御手の中で、無償の愛に支えられた真生塾の皆様が、豊かな人生を開いて行かれることをお祈りいたします。



# 二〇一三年度事業報告

二〇一三年度も神戸真生塾の子どもたちと職員一同は、神様の恵みと祝福によって日々支えられて参りました。また多くの皆様の温かいご支援があり、何とか乗り越えてくる事ができました。ご支援賜りました地域の方々を始め、学校・医療・行政その他関係機関の皆様に対し心より感謝の意を表します。

我が国の社会福祉が総合的に見直される中で、神戸真生塾が直面する課題や問題の整理と、将来に向けての新たな取り組みが必要な時期に差し掛かっています。これは、地域における役割を含め、これからの施設の在り方について、早急に計画を立てるよう迫られている実情にあると言うことです。具体的には、

保育所の幼保一体化計画と、児童養護施設と乳児院の小規模化・地域分散計画についてです。これらの新しい施策が、真に子どもたちの権利擁護と、子ども家庭の安心と安全が保障されていくことになっているかどうか、重要なポイントであるにも拘わらず、子どもたちから見た議論が深められてきておりませ

ん。このような状況下にありますので子どもたちに向けたケアの質的・量的高度化と、ニーズの多様化に向けた多機能化について考えてきました。第三者評価の受診はその一つの表れでした。

過去には、神戸市の指定管理事業としての援助ホームの運営に当たることよって、質と量の高度化に向けての事業拡大にありました。また小児科診療所の設立は、医療機関を持つ社会福祉法人は神戸市としては初めてのことでありましたが、病児・病後児保育の公益事業も、法人初の事業参加となって参りましたが、地域貢献度の高い事業への取り組みとなっている事と確信しています。

今、社会福祉法人の地域貢献が問われています。

今後、これら新しい分野で、入所児童をはじめ、地域の児童福祉に大きく貢献していく事を目標と定め、新たな地域のニーズに沿って事業の発展と推進を図って参りたいと願っています。

(富川 和彦)

資金収支計算書  
2013年7月1日現在、4月 1日(前)年比増減率 49.0%

種別	金額	前年度	増減率
現金増減	31,497,292	11,109,232	283.2%
現金増	396,771,176	202,881,867	196.1%
現金減	5,138,661	1,922,863	267.2%
預金増減	82,787	14,318,000	17.3%
預金増	31,159,441	2,222,288	1401.0%
預金減	8,298,412	3,906,412	212.4%
債権増減	7,437,426	1,112,268	668.5%
債権増	4,631,434	4,988,259	92.8%
債権減	28,393	39,991	141.1%
固定資産増減	1,822,128,570	1,847,438,570	-1.4%
固定資産増	79,619,430	202,939,430	39.3%
固定資産減	1,802,519,040	1,644,500,000	109.6%
負債増減	4,538,830,431	4,502,830,431	0.8%
負債増	39,518,430	36,018,430	109.7%
負債減	34,980,600	31,486,000	111.1%
純資産増減	14,106,889	1,106,889	1273.3%
純資産増	29,639,400	1,106,889	2678.1%
純資産減	15,532,511	1,000,000	1553.3%
経常増減	29,639,400	1,106,889	2678.1%
経常増	29,639,400	1,106,889	2678.1%
経常減	0	0	0%
非常増減	53,147,896	10,202,111	519.9%
非常増	12,498,811	10,202,111	122.5%
非常減	40,648,985	100,000	40648.985%
増減合計	31,497,292	11,109,232	283.2%

資金収支計算書  
2013年7月1日現在、4月 1日(前)年比増減率 49.0%

種別	金額	前年度	増減率
現金増減	31,497,292	11,109,232	283.2%
現金増	396,771,176	202,881,867	196.1%
現金減	5,138,661	1,922,863	267.2%
預金増減	82,787	14,318,000	17.3%
預金増	31,159,441	2,222,288	1401.0%
預金減	8,298,412	3,906,412	212.4%
債権増減	7,437,426	1,112,268	668.5%
債権増	4,631,434	4,988,259	92.8%
債権減	28,393	39,991	141.1%
固定資産増減	1,822,128,570	1,847,438,570	-1.4%
固定資産増	79,619,430	202,939,430	39.3%
固定資産減	1,802,519,040	1,644,500,000	109.6%
負債増減	4,538,830,431	4,502,830,431	0.8%
負債増	39,518,430	36,018,430	109.7%
負債減	34,980,600	31,486,000	111.1%
純資産増減	14,106,889	1,106,889	1273.3%
純資産増	29,639,400	1,106,889	2678.1%
純資産減	15,532,511	1,000,000	1553.3%
経常増減	29,639,400	1,106,889	2678.1%
経常増	29,639,400	1,106,889	2678.1%
経常減	0	0	0%
非常増減	53,147,896	10,202,111	519.9%
非常増	12,498,811	10,202,111	122.5%
非常減	40,648,985	100,000	40648.985%
増減合計	31,497,292	11,109,232	283.2%

貸借対照表  
2013年7月1日現在

種別	金額	前年度	増減率
現金	31,497,292	11,109,232	283.2%
現金	396,771,176	202,881,867	196.1%
現金	5,138,661	1,922,863	267.2%
預金	82,787	14,318,000	17.3%
預金	31,159,441	2,222,288	1401.0%
預金	8,298,412	3,906,412	212.4%
債権	7,437,426	1,112,268	668.5%
債権	4,631,434	4,988,259	92.8%
債権	28,393	39,991	141.1%
固定資産	1,822,128,570	1,847,438,570	-1.4%
固定資産	79,619,430	202,939,430	39.3%
固定資産	1,802,519,040	1,644,500,000	109.6%
負債	4,538,830,431	4,502,830,431	0.8%
負債	39,518,430	36,018,430	109.7%
負債	34,980,600	31,486,000	111.1%
純資産	14,106,889	1,106,889	1273.3%
純資産	29,639,400	1,106,889	2678.1%
純資産	15,532,511	1,000,000	1553.3%
経常	29,639,400	1,106,889	2678.1%
経常	29,639,400	1,106,889	2678.1%
経常	0	0	0%
非常	53,147,896	10,202,111	519.9%
非常	12,498,811	10,202,111	122.5%
非常	40,648,985	100,000	40648.985%
増減合計	31,497,292	11,109,232	283.2%

貸借対照表  
2013年7月1日現在

種別	金額	前年度	増減率
現金	31,497,292	11,109,232	283.2%
現金	396,771,176	202,881,867	196.1%
現金	5,138,661	1,922,863	267.2%
預金	82,787	14,318,000	17.3%
預金	31,159,441	2,222,288	1401.0%
預金	8,298,412	3,906,412	212.4%
債権	7,437,426	1,112,268	668.5%
債権	4,631,434	4,988,259	92.8%
債権	28,393	39,991	141.1%
固定資産	1,822,128,570	1,847,438,570	-1.4%
固定資産	79,619,430	202,939,430	39.3%
固定資産	1,802,519,040	1,644,500,000	109.6%
負債	4,538,830,431	4,502,830,431	0.8%
負債	39,518,430	36,018,430	109.7%
負債	34,980,600	31,486,000	111.1%
純資産	14,106,889	1,106,889	1273.3%
純資産	29,639,400	1,106,889	2678.1%
純資産	15,532,511	1,000,000	1553.3%
経常	29,639,400	1,106,889	2678.1%
経常	29,639,400	1,106,889	2678.1%
経常	0	0	0%
非常	53,147,896	10,202,111	519.9%
非常	12,498,811	10,202,111	122.5%
非常	40,648,985	100,000	40648.985%
増減合計	31,497,292	11,109,232	283.2%

詳しくは、ホームページ <http://kbshinsei-j.org> をご覧ください。

# 《児童養護 神戸真生塾》 卒園卒業お祝い会

今年も、無事「卒園・卒業お祝い会」を終える事が出来ました。今年は幼児六名、小学生二名、中学生四名、高校生五名と一七名の子も達が、今までお世話になった方々に見守られ、皆、笑顔で晴れ舞台に立つ事が出来ました。

会はとてもアットホームで、楽しいひと時となりました。照れながらも、進級するにあたっての抱負を、全員立派に言えておりました。一人一人のスライドショーを見た際には、子ども達の成長を見る事が出来、この日を迎えるにあたって多くの日から愛情を受けて来たのだと思いました。

会には、幼稚園、小学校、中学校、高校と沢山の先生方にもご出席して頂きました。先生方のお言葉を聞いて、施設では見せない子ども達の様子が伺えました。子ども達は、学校の方々と地域の方々に支えられているのだと、改めて実感する事が出来ました。

今回は、五人の子も達がここ神戸真生塾を巣立ち、新たな場所で生活が始まる事となります。

した。子ども達は、この日を迎えるまでに楽しかった事や嬉しかった事があった反面、本当に辛かった事や不安に押しつぶされた日々もあった事と思います。しかし、その子ども達から「真生塾で過ごす事が出来、本当に良かった。皆、本当の家族の様な存在である」と言う言葉を聞いて、胸が熱くなった事を今でも思い出します。

子ども達にとって、幼少期・学童期という時期は本当にかげがえのない期間です。その様な時期に、様々な理由で親もとから離れ、ここ神戸真生塾で暮らす事となりました。私たち職員も、日々子ども達と向き合いますが、葛藤する日もあります。前へ前へと進む為に、日々職務に携わっています。この度、私は二名の児童を退所に向けて支援してきました。その中で見えた事は、やはり一八歳の子もが施設を出て自立していくという事は、本当に苛酷で大変な事だと感じました。子ども達には、夢や希望を持って社会へ旅立つて欲しいと感じると共に、社会の厳しさに負けないで欲しいと

強く願います。退所した子ども達から、現在の様子を聞く事が出来ました。やはり大変な事もあるようですが、少し大人になった姿を見て安心しました。神戸真生塾で暮らした子ども達が、いつでも「ただいま」と笑顔で帰ってこられる場所であり続けたいと感じました。

今、子ども達は新しく小学校、中学校、高校へと進み日々頑張って生活しております。また、新しく乳児院から移行した子どもも一緒に暮らしております。新しい環境で不安も感じておりますが、楽しく生活をしていきます。

これからも子ども達が健やかに、そして安心して暮らせる様に、私たち職員一同も日々精進しながら頑張っていきたいと思っております。(高砂)



## 子どものつばやき



☆幼稚園に入園したばかりのK君。「今日幼稚園で何してたの?」と尋ねると「緊張してた!」毎日大変だね。(5歳男児)

☆ゲームをやっている最中「うまくいったわ、まあマグロやけどな!」マグレと言いたかったようです。(5歳男児)

☆外で登り棒をしている最中「お姉ちゃん、絶対見といてよ、めばちこしたらアカンよ」きつと「まばたき」って言いたかったんだね。しっかり見ているよ!(4歳女児)

☆ラーメン屋さんで「メレンゲ取ってちょうだい」それは「レンゲ」だよ。(14歳男児)

☆草や葉っぱを野菜に見立ててままごとをしていたKちゃん。「これは、バケツ!」「??」もしかしてキャベツのこと?」と聞くと「そうそう!」照れ笑いのお顔がとってもかわいかったよ。(5歳女児)

☆不要になった学校のプリントを「これ破損しといて」と。破棄の間違いだね。(15歳女児)

☆野球の試合を見ている時「ヤクルトって何?ヤクルトって何?」(7歳女児)

☆「お姉ちゃん、何歳?」と聞かれたので正直に答えると「ふくん、年の割に若く見えるから大丈夫や」とAちゃん。気を遣ってくれてありがとう。(10歳女児)

# 新任職員紹介

## 乳児院



井上 裕子

〔趣味〕 読書・映画鑑賞

〔抱負〕 元氣いっぱいの子ども達に負けないよう、日々笑顔を忘れず、子ども達と共に学び、成長していきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。



清水 小紅美

〔趣味〕 旅行

〔抱負〕 こども一人一人に寄り添い、適切な対応ができるよう日々頑張つていきたいと思ひます。どうぞ宜しくお願ひ致します。

## 保育所



請川 まり子

〔趣味〕 旅行、愛犬と遊ぶこと

〔特技〕 ピアノ

〔抱負〕 子どもたちと共に、私自身、保育士としても人として

も成長し、きらりと光る存在になれるよう、精進していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



射場 美咲

〔趣味〕 手芸、歌うこと

〔特技〕 絵を描くこと

〔抱負〕 こどもたちに喜んでもらえ、また、楽しく食べて頂けるような給食が作れるよう努力して参ります。



三木 早也佳

〔趣味〕 お菓子作り

〔特技〕 水泳・マッサージ

〔抱負〕 4月から保育園での勤務が始まり、あつという間の2ヶ月がたちました。まだまだこれからたくさんの方々の努力が必要ですが、園児さん達と一緒に自分も成長していきたいです。



廣井 恵

〔趣味〕 読書

〔特技〕 絵を描くこと

〔抱負〕 子どもたちと過ごす毎日の中で、子どもたちの様々な姿を見ることができました。こ

れからもしっかりと子どもたちと向き合っていくなかで、その成長を見守つていきたいです。



山口 芽久未

〔趣味〕 アウトドア

〔特技〕 フラワーデザイン

〔抱負〕 こんにちは。6月より保育園に来ました。大学卒業後は違う職に就き、保育の現場は経験がありません。一日でも早く環境に慣れ、子ども一人ひとりに寄り添つていきたいです。

## 児童養護施設



石津 加奈子

〔趣味〕 映画鑑賞

〔特技〕 ピアノ

〔抱負〕 子どもと共に自分自身も成長できる保育士になりたいです。先輩職員の方々から指導を頂いたり子どもたちからも学ぶことができたりと一日一日を大切に過ごしていきたいです。



尾谷 伊都美

〔趣味〕 映画鑑賞

〔特技〕 お菓子作り  
〔抱負〕 慣れない事はばかりで、まだまだ力不足な面もありますが、自分なりに何事も努力し、日々子ども達と一緒に成長していきたいような児童指導員を目指していきたいと思ひます。



原田 満香

〔趣味〕 写真

〔特技〕 バトントワリング

〔抱負〕 神戸真生塾で働くことができ嬉しく感じています。社会人としても職員としても日々、試行錯誤しながら少しでも早く子ども達にとって安心できる存在となれるよう頑張ります。



松川 祐梨子

〔趣味〕 旅行

〔特技〕 バドミントン

〔抱負〕 子どもたちに栄養バランスの整ったおいしい食事を作りたいと思ひます。まだまだわからないこともたくさんありますが、一生懸命頑張るのでよろしくお願ひします。

## 昨年度児童行事報告

- 四月 春の子ども会（下・一月も、関西学院 高等部・神戸女学院高等部 小学生ハイキング・幼レク（市養連 真陽フェスティバル（地区自治会 当法人創立記念日お祝い会
- 五月 卓球大会（東養協・市養連 Jリーグ観戦（ヴィッセル 近畿スポーツ大会神戸予選（市養連 子ども会クリン作戦（元町商店街 夜市招待（市養連 琵琶湖キャンプ（市養連 小学生教会キャンプ（神戸教会 当法人・納涼大会（市養連 花火大会（市養連 海釣り招待（神戸市 Jリーグ観戦（ヴィッセル 女子バレーボール大会（市養連 Jリーグ観戦（市養連 神戸生田中学校体育会（市養連 清風幼稚園・山の小学校運動会（市養連 フットサル大会（市養連 七五三詣り（生田神社 オレンジリボンキャンペーン（市養連 兵庫県子ども支援センター協議会（市養連 アイススケート（市養連）
- 七月 神戸ポトライオンズクラブ（市養連） お餅つき招待（神戸サウナ 電飾バス来塾（市交通局労組 教会クリスマス（神戸教会 クリスマス礼拝・祝会（市養連） クリスマス昼食会招待（神戸フロンティア）
- 八月 神戸ポトライオンズクラブ（市養連） カナディアン交流会（市養連） グリーンカップフットサル大会（市養連） 定期演奏会（兵庫県管吹奏楽団） キツザニア招待（西宮キツザニア） スキー大会（市児童養護施設連盟） キャンプ招待（セントラルレオクラフ） 当法人・卒業生園お祝い会



「ここ行ったことあるね」  
 「あーKくんのおうち見えた」  
 と、景色を見ながら大はしゃぎ。あつという間に北区のニコファームへ到着しました。  
 ハウスの中には、大きくて甘くて真っ赤ないちごが、たくさん並んでいます。Kくん、Aちゃんは、

庭に植えたいちごの苗が育ち、小ぶりの赤い実ができました。うさぎクラスで、3歳のKくん、Aちゃんは一口食べると「おいしいー」と目を丸くしています。「今度はバスに乗って、もっと大きないちごを食べに行くから



# 《乳児院 真生乳児院》 イチゴ狩り

保育士 馬田 あゆみ



ね」と話すと「やったー！」と大喜び。カレンダーに印をつけて楽しみにしています。そして当日。朝早くから栄養士のお姉さんが作ってくれたお弁当を、自分のリュックに詰め、出発！大きなバスに乗る機会が

畑の端から端まで歩いて、カゴにいちごを採っては、口いっぱいいほおばりました。美味しいいちごに、笑顔がいっぱい溢れます。畑の中でいちごを食べていると・・・  
 一匹のカエル！捕まえようとする子どもたちと、逃げるカエルの追いかけっこが始まりました。ひとしきりカエルと遊んだあとは、またバスに乗って近くのフルーツフラワーパークへ。楽しみにしていたお弁当タイムです。ふたを開けると「うわあ〜」「すごい」と大喜び。食欲旺盛なKくんは、あつという間にペロリと食べてしまいました。

広いパーク内を走り回って遊んだので、帰りのバスでは、みんな夢の中でした。「いちご狩り行ったね」「楽しかったね」と、一つ一つ思い出しながらゆっくり話す姿に成長を感じました。「また行きたい！」



す。いちご狩りは、子ども達だけでなく、保護者も楽しみにしている行事の一つです。親子で大きなバスに乗り、屋外で真っ赤ないちごを食べた楽しさや嬉しさを共有できる、大切な時間だと考えています。「また行きたい！」と言った言葉と思いを大切にしながら、これからもたくさんさんの経験を一緒に積み重ねていきたいと思います。



## 昨年度行事報告

- 四月 お花見
- 五月 こどもの日
- 六月 合同遠足 (市乳児連盟)
- 七月 七夕
- 七月 プール遊び
- 八月 デイキャンプ
- 八月 納涼大会
- 八月 デイキャンプ
- 九月 合同運動会 (市乳児連盟)
- 十月 院内運動会
- 十一月 人形劇合同交歓会 (市乳児連盟)
- 十二月 七五三
- 十二月 収穫感謝祭
- 十二月 クリスマス祝会
- 一月 お餅つき
- 一月 お正月
- 二月 節分
- 三月 ひなまつり
- ☆毎月 お泊り保育 (しあわせの村)
- ★お誕生日会
- ★お喰い始め



《保育所 真生きらきら保育園》

三つの間を大切に

園長 上杉 徹



2014年度 入園式

今年の入園式にて保育園では『三つの間』を提供して、子どもたちに安全に楽しく過ごしてもらっていますというお話をしました。『三つの間』とは『遊ぶ空間』『時間』そして『仲間』のことを表しています。この三つの間は子どもたちの遊びを成立させる大切な条件であると言われています。遊びを通して子どもたちは物事に興味を持った

り、技術や知識を獲得していきます。特に、仲間と過ごす時間が大切です。周りのお友だちとのつながり、年長児、年少児の関わりなど、保育園の生活の様々な場面で関わりを持つことがたくさんあります。時にはトランプとなることもあります。その一つひとつの経験が子どもたちが育つためには必要な『間』となります。それぞれのクラス、保育の中でこの『間』を大切にしていきます。



《6月園だよりより》

さくらんぼぐみ・ももぐみ (0・1歳児)

保育士 廣瀬 加恵・廣井 恵

朝はやつぱりおうちの方と離れたくない気持ちいっぱいの子どもたちがまだまだ沢山います。が、離れたくない気持ちよく分かります。大好きなお家のかたですもんね。

でも毎朝「いつてらつしゃい」とお家の方と別れたあとは保育士に抱かれたり、おもちゃを手にしていく様子を見せてくれるようになります。保育園だと、なかなかお昼寝ができなかった子どもたちも少しずつ寝られるようになってもらっています。保育園にも少しずつ慣れてきてくれたかな。

ももぐみの子どもたちは行動も活発になってきました。保育室にあるいろいろな物に興味いっぱい触ったり、出してみて楽しんだり、お友だちの様子もよく見ていて、箱の中に一人が入ると、自分もと、入りが入り、一人がテーブルをたたくとみんなで大合唱、あそんでい

おもちゃが楽しそうに見えると思わず取ってしまう、そんなももぐみの子どもたちです。まだ、「貸して」や「いいよ」の言葉が発する事はもちろん難しいです。し、気になったら「触りたいし、使いたい!!」そのような気持ちを感じながらも、少しずつ繰り返してはいけないことや触ってはいけない物があることを伝えていきます。

さくらんぼぐみは5月より新しいお友だちが一人増えました。嬉しいですね。子どもたちは一人で上手にお座りをして、ももぐみさんがあそんだりしている様子をじーっと見たり、おもちゃを側に置くと自分から触ってみたりしています。離乳食も一人でコンビラックに座って保育士がスプーンを口元に運ぶと口をあけて食べてくれます。そして抱っこをしてほしいなど、何か気づいて欲しいときは泣いて教えてくれます。ももぐみさんも

さくらんぼぐみさんは自分より小さいお友だちと感じているようで、側に行つて子どもたちなりに頭をなでてみたり顔を近づけてみたりしています。

5月はこのほりが泳ぐのを楽しんでみている姿がありました。嬉しそうに見ていることも私たちの姿は本当にかわいいもので、もうすぐ見られなくなるのがちよつと残念・・・

そしてつきの部屋の天井からつるしていたこいのぼりも「ちようちよ」に変わりました。子どもたちは触りたくて「だっこして」といつているかのように手をのばしてくれれます。いつか本物のちようちよをみんなで見られる日がきたらいいな。



ありがとうございました

寄付並びに見童招待ご芳名

敬称略・五十音順

(二〇一三年四月一日〜二〇一四年三月三十一日)

寄付金

- 阿部志郎
- 有馬和男
- 安西眞由美
- 安藤サト子
- 飯田進
- 五十君好美
- 石井幼稚園
- 伊藤千景
- 稲垣宣子
- 岩村良子
- 上杉徹
- 上西幸之助
- 大江慎一
- 大阪キリスト教短大
- 小沢医院
- 小野勝江
- 小幡信子
- 數田紀久子
- 勝木光江
- 家庭養護促進協会
- カフェ・リースヒェン
- カワタリ電設(株)
- 関西学院高等部
- 関西学院
- 宗教活動委員会

- 関東学院 中・高部
- 倉石哲也
- 神戸教員合唱団
- 神戸教会
- 神戸教会
- 神戸教会
- いずみ幼稚園
- 神戸教会教会学校
- 神戸市
- 児童養護施設連盟
- 神戸市中央区
- 社会福祉協議会
- 神戸市乳児院連盟
- 神戸松陰
- 女子学院大学
- 神戸昇天教会
- 神戸女学院
- 神戸女学院中高部
- 神戸女子短期大学
- 神戸市立清風幼稚園
- 職員一同
- 神戸真生塾
- 児童養護施設
- 職員有志
- 真生乳児院職員一同
- 真生きらきら保育園
- 職員一同
- 子供の家職員一同

- 神戸聖愛教会
- 神戸多聞教会
- 神戸ポートワイズ
- メンズクラブ
- 広陵町民生児童委員協議会
- 児玉絃子
- 後藤幸子
- 齊藤仁美
- 齊藤稔
- 坂口友利子
- 捜真女学校 中・高
- 坂田いさ子
- さくら会
- 清水美香
- 松陰女子学院
- 頌栄短期大学
- 頌栄幼稚園
- 白坂精子
- 菅根信彦
- 鈴木誠也
- 住元義則・淳子
- 高尾華工房人見明美
- 竹村和子
- 玉川聖学院
- 民谷清
- テクノ阪神(株)
- 東洋英和女学院
- 戸塚昌子
- 富井啓介
- 富川和彦
- 富川直彦
- 鳥井順子
- 鳥京
- 中村悦子
- 中村淳子

- 名古屋学院
- 難波美智子
- 西宮中央教会
- 日本聾話学校
- 忍頂寺穀史
- 梅光学院 中・高部
- 橋本明
- 濱啓子
- 濱田栄二
- 林りえ
- 東神戸教会
- 広畑康雄
- 福島弘子
- 藤井祥子
- 藤井秀彦
- 細見英信
- 本城智子
- 三木明
- 宮永公子
- 村井和子
- 村井美穂子
- 吉原志津子
- 李福美
- 若林孝典
- 綿谷榮子
- 渡邊智明
- NPO法人
- ピーアンドファーム

寄付物品

- 安西禎子
- 内田三枝
- 大阪ガス
- 大塚倉庫(株)
- 沖繩タイムス社

- 片岡米穀店
- 門脇明彦
- 共進舎労働組合
- 協同食品(株)
- 神戸教会
- 神戸昇天教会
- 神戸市立清風幼稚園
- 神戸スイーツポート
- 神戸ポートワイズ
- メンズクラブ
- 神戸屋精肉店
- コストコ
- 三宝(株)
- 鳥田千里
- 下河内・篠木・廣田
- 松陰高等学校
- 神果神戸青果(株)
- 新聞局地方部
- 中部グループ
- 真陽フェスティバル
- 全国シャンメリー
- 協同組合
- 隆明(株)
- 玉野雅嗣
- 中央区更生保護
- 女性会
- チュチュアンナ
- トヨカワ水産
- 日本鏡餅組合
- 日本スポーツ用品
- 協同組合
- 原商店
- 兵庫県アミューズメン
- ト施設営業者協会
- 福岡武彦
- マークラー神戸(株)

児童招待行事等

- みの屋
- 柳田薫
- ワールドメイト
- P&G
- USJ
- 朝日放送
- 生田神社
- ヴィッセル神戸
- 大阪YMCA
- 大阪ガスグループ
- 小さな灯運動
- カネディアン
- アカデミースクール
- 熊野神社
- 公益財団法人
- オリックス財団
- 神戸YMCA
- 神戸ウインド
- シンフォニカ
- 神戸カッパ友の会
- 劇団カッパ座
- 神戸教会
- 神戸サウナ&スパ
- 神戸市交通局
- 神戸市須磨
- 海づり公園
- 神戸市生活指導
- 研究会
- 神戸新聞社
- 神戸元町商店街連合会
- 神戸六甲ポート
- ライオンズクラブ

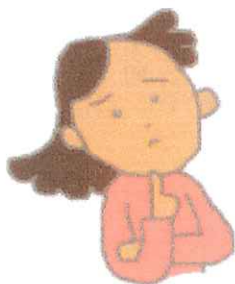
- ゴールドマン・サックス証券(株)
- ザ・ファースト
- 真生ボクシングジム
- 新日企画
- 真陽ふれあい
- まちづくり協議会
- 全日本
- サーフキャスティング
- 連盟兵庫協会
- 日産労連
- NPOセクター
- 「ゆららいふ21」
- 日本プロサッカー
- 選手会
- 早駒運輸
- 春・秋子ども会
- 神戸女学院高等学部
- 関西学院高等部
- 兵庫県警察本部
- 音楽隊
- 三井住友海上
- 火災保険(株)
- レオクラブ
- KOBE三宮
- ひと街創り協議会
- NPO法人生涯学習
- サポート兵庫
- 伊藤様他
- 散髪ボランティア
- 神戸YWCAお話し会
- 子どもたちにダンス
- 指導して下さった皆様(ヒップホップ)
- 以上

皆様のご意見、ご要望をお聴きしています。

神戸真生塾苦情処理委員会

- 苦情受付担当者 久山 啓 (子ども家庭支援センター  
ロータリー子どもの家 センター長)  
森本 みずき (真生きらきら保育園 主任保育士)
- 苦情解決責任者 富川 和彦 (児童養護施設 神戸真生塾 施設長)  
数田 紀久子(乳児院 真生乳児院 施設長)  
上杉 徹 (保育所 真生きらきら保育園 園長)
- 第三者委員 森光 規之(当法人 監事 )  
中村 悦子(主任児童委員 中央区山手地区民生委員児童委員)
- 苦情受付件数 平成26年 3月より6月末まで 3件

ロータリー子どもの家は、児童福祉法に基づく児童家庭支援センターとして、神戸市から認可を受けています。二〇〇五年度の四月より、従来の活動とともに、子どもと家庭についての専門相談機関として、働いています。



子育てに  
困った時は  
先ず電話！

毎日、午前9時～午後6時、  
緊急のご相談は夜間もOKです。

子育てホットライン(相談専用)

TEL.078-341-6493

神戸真生塾子ども家庭支援センター  
(ロータリー子どもの家)

Homepage <http://www.rotary-kodomoie.org/>

編集後記

皆様のご支援でこの広報誌「愛」も二八号を発行する運びとなりました。職員一同嬉しく思っております。ご協力いただき全ての方々に感謝しながら、今年度も職員で知恵を出し合い、よりよい広報誌作りを励んでいきたいと思っています。昨年一年間でこの広報誌「愛」を読んでいた方が増え、様々な感想が寄せられました。

中でも多かったのが「こどものつぶやき」を毎回楽しみにしているとのことお言葉でした。私たち職員も毎日業務に追われ、心の余裕をなくしてしまいがちですが、純粹でユーモア溢れる子どもたちの言動にもクスツと笑わされ、癒されています。

同時に子どもたちから純粋な「つぶやき」がこの先も失われてしまわないよう、また子どもたちが発した「つぶやき」を聞き落としてしまわないよう、日々の養育に当たらなければならぬと、広報誌を作りながら身の引き締まる思いがします。今年もたくさんのかわいい「つぶやき」をお届けいたします。どうぞお楽しみに。

(金岡 美衣)

